



自然の厳しさと恩恵をうける道路

徳島県 那賀町 建設課

1. はじめに

那賀町は徳島県の南東部に位置し、東は阿南市、西は高知県、南は海部郡、北は勝浦郡、神山町、美馬市、三好市に隣接しています。地域の北西部には四国山地、南部には海部山脈などを配しており、標高 1,000 メートル以上の山々に囲まれ、地域の 9 割以上が森林の中山間地域です。地域内には那賀川及び坂州木頭川が流れ、両河川は旧上那賀町内で合流して地域のほぼ中央を西から東に貫流しています。

面積は 694.86 平方キロメートル。徳島県の総面積（4,145.10 平方キロメートル）の約 17% を占めています。人口は平成 22 年 3 月 31 日現在 10,339 人、世帯数 4,091 世帯です。



2. 日本一といわれる道路の現状

那賀町には、日本一といわれる道路があります。「町道剣山線」通称「剣山スーパー林道」とよばれています。この路線は 4 市町を跨いでおり、起点は上勝町で、神山町、那賀町、美馬市を経由し、終点は再び那賀町。全長 87.7 km の内、那賀町区間は約 60 km と大半を占めています。大部分が未舗装というロングダートで日本一の道路です。

その剣山スーパー林道の紹介をしたいと思います。

剣山スーパー林道は昭和 47 年に特定森林地域開発林道「剣山線」として着工され、13 年の歳月をかけて 1985 年（昭和 60 年）に全線開通しました。幅員 4.6m、総工費 124 億円。最も高いところ（高城山登山口）で標高 1,525 メートルに達するところがあります。山の家（奥槍戸）1,522 メートル、ファガスの森 1,301 メートルとなっています。このような高山地を通っているため、自然環境は非常に厳しく、又、日本有数の多雨地帯でもあるため、この路線は法面崩壊や路肩決壊といった災害が絶えません。また、冬期（12 月～3 月）は積雪のため通行止めとなります。災害が発生した箇所は公共土木施設災害復旧事業により復旧し、また、平成 15 年度より災害防除事業により法面対策等を行っておりますが、なにぶん延長が長い事もあり、対策しきれず、危険な箇所もあるのが現状です。



平成 19 年災害 復旧前



復旧後

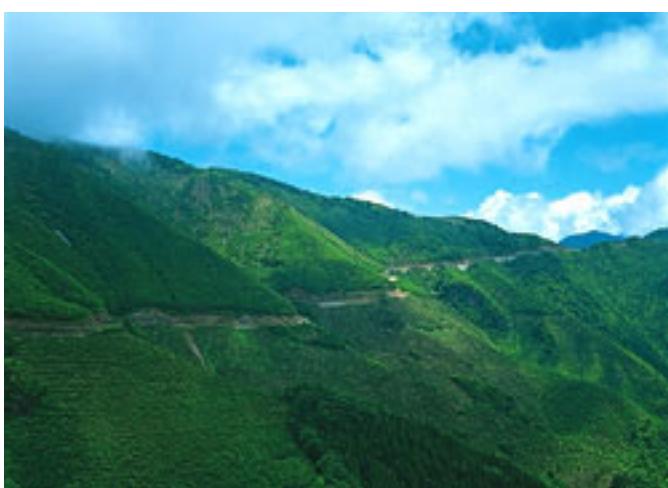
未舗装であることと、開設当初、排水対策や法面対策が十分でなかったところがあるため、少し強く雨が降ると、路面の凸凹や落石等により通行に支障をきたすので、小規模な災害や維持修繕的なものは町職員が直営で隨時補修しております。



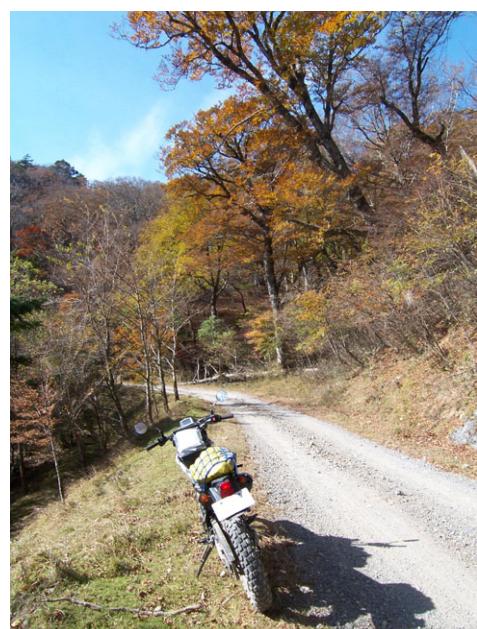
町職員による補修状況

3. 自然を満喫できる道路

このように、非常に厳しい自然環境であるため、危険極まりない道路ではありますが、非常に魅力ある大自然にもあふれているため多くの観光客が訪れます。那賀町の剣山スーパー林道のなかでも、特に多くの観光客が訪れる区間が、国道 193 号線、雲早トンネル手前から入り、終点の国道 195 号線に合流するまでの区間です。西日本第 2 の霊峰剣山国定公園を抜けるスーパーロングダートを目当てに、全国からオフロードバイクや 4 輪駆動車が集まり、春のゴールデンウィークと秋の紅葉の季節は多くの人でにぎわいます。



剣山スーパー林道



剣山スーパー林道には途中、3箇所の休憩施設があります。「ファガスの森 高城」と「山の家奥槍戸」、高の瀬峡レストハウス「平の里」です。

ファガスの森は、国道193号線からスーパー林道に入って約7kmのところにあります。樹齢数百年のブナを中心とした神秘的な原生林として知られています。のんびりと散策を楽しんだり、野鳥や草花を観察したりバンガローに宿泊してアウトドアライフを満喫したり…。豊かで魅力的な自然と出会い、楽しむ“リフレッシュゾーン”として人気を集めています。森の中心部には、軽い食事もできる休憩所「ファガスの森 高城」がありスーパー林道を利用する人々の憩いのスポット。バンガローやキャンプ場もあります。



ファガスの森 高城 休憩所



ファガスの森 バンガロー

さらに西へ進むと「山の家 奥槍戸」があります。昭和59年5月に完成し、原生林にかこまれた槍戸川の源流域一帯を占める「奥槍戸」は剣山の南面からの登山口で四国随一の紅葉の名所としても知られる景勝地です。ジロウギュウ直下の剣山トンネルの近くに、ログハウス風の休憩所「山の家奥槍戸」はあり、観光客やツーリング客の憩いのスポットとして親しまれています。

食事ができ、剣山への登山道もあります。剣山は石槌山に次ぐ西日本第二の高峰で、周辺には1,800m級の山々が並んでいます。剣山の魅力はブナ、モミなどの大樹の原生林、そして山頂部一面に広がる草原状のミヤマクマザサです。また、古くから山岳信仰の靈峰としても知られ、原始林が姿を残し、高山植物の群生地もあり四季折々の変化が楽しめます。しかし、近年、鹿の異常繁殖によりこれらの自然にも食害被害が及んでいます。



山の家 奥槍戸



奥槍戸

「山の家 奥槍戸」のすぐ隣が剣山トンネルで、この剣山トンネルを抜けたところに那賀川源流の碑があり、ここから約15分程遊歩道を下ると那賀川の源流に行くことができます。那賀川は延長125kmで、徳島県内を流れる河川としては最も長い河川です。また、「最も良好な水質」として清流四国一（四国地方整備局2004年河川水質調査）に選ばれたこともあります。源流にはモニュメントが設置されおり、毎年4月に那賀川源流碑開き式が行われ、周辺を清掃し、安全祈願、「那賀川源流」から那賀川流域に恵みを与えていただけけるようお願いしています。秋には那賀川源流コンサートも開かれております。



那賀川源流碑開き式の様子



モニュメントと源流

さらに西へ進むと「高の瀬峡」があります。徳島県観光百選第一位の、木頭「高の瀬峡」は、典型的なV字型渓谷で、剣山国定公園となっています。四季を通じて色とりどりに織りなす景観は素晴らしい、特に、「もみじ」では四国唯一との賞賛の声も多い渓谷です。その景観は、天恵の渓谷美と雄壮な奇岩絶壁を彩るもみじの調和に神秘な魅力があるといわれ、秋には四国四県はもとより、遠く京阪神方面からの観光客が年々増えてきています。



高の瀬峡

高の瀬峡をすぎ、終点近くにあるのが、高の瀬峡レストハウス「平の里」です。高の瀬峡レストハウス「平の里」は紅葉が美しく映える時期のみ営業しており、入り込んだ高の瀬峡が一望できる展望スポットとして人気があります。ここを過ぎて橋を渡れば国道195号線、剣山スーパー林道の終点です。



高の瀬峡レストハウス 平の里

4. 大自然と一体化した「まちおこし」

那賀町も剣山スーパー林道でしか体験できない大自然を多くの人に味わってもらい、また知ってもらいたいたため、商工会、その他関係機関と連携し、その施設等を軸に様々なイベントを行っております。秋は「紅葉まつり」冬は「樹氷まつり」そして今年の春は「地下足袋王子杯 TSURUGI Trail Running Race in NAKA 2010」が開催されました。

紅葉まつりは、毎年秋にファガスの森、山の家、その他町内施設等で開催され、餅まきの他、名物「酸欠ライブ」も行われております。その名のとおり高山地で酸欠にならずに歌い続けられるかというものです。



山の家での酸欠ライブ

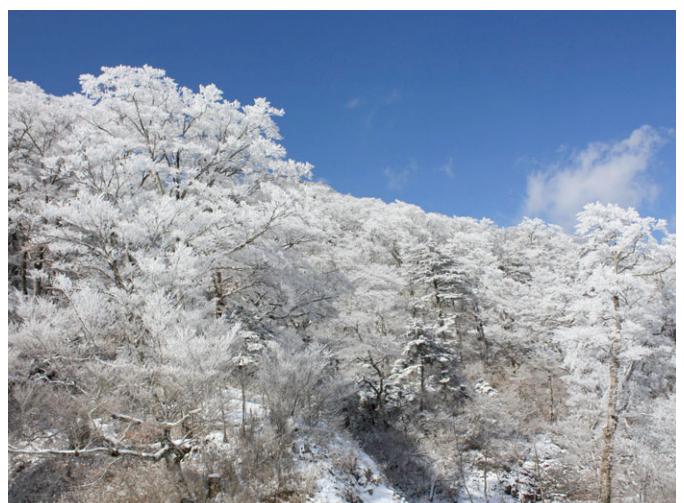


ファガスの森での餅まき

樹氷まつりは2月にファガスの森周辺で開催されております。徳島にもこんなところがあるのです。剣山スーパー林道でしか味わえない絶景です。(※冬期通行止めのため、ツアー形式にて行っております。)



樹氷まつりでのつらら状況



樹氷 ファガスの森付近

地下足袋王子杯 TSURUGI Trail Running Race in NAKA 2010は今年5月に初めて開催されました。ファガスの森をスタートし、スーパー林道を駆け抜け、途中林道をショートカットする稜線などをつなぎ、徳島県内標高第2位のジロウギュウの頂上へ。その後、標高差1400mのダウンヒルで一気にゴールの平の里を目指すという想像を絶するようなレースです。その距離53km。車で走るだけでも疲れるのに・・・信じられません。



トレイルラン ジロウギュウからのダウンヒル



トレイルラン スーパー林道剣山トンネル付近

5. 今後の方針

このように、剣山スーパー林道は、非常に厳しい自然環境の基にあり延長も長いため、維持管理には莫大な金額の必要な路線であり、しかも生活道ではありません。財政的な面だけで言えば町のお荷物となっているのに違いないでしょう。しかし、この路線を訪れる人は必ずおり、後を絶つことなく、毎年春には多くの人が開通を待ち望んでいます。なぜなら、行く度に違った発見があり、下界では体験できないような多くの感動を与えてくれ、心を癒してくれる、非常に魅力あふれるフィールドであるからでしょう。そして私達もなにかしようとすれば、やはりこの地に頼ってしまいます。やはり那賀町にとって絶対に必要な道路であることには違いありません。今後、更に財政的には厳しくなるでしょうが、この路線をどう管理し、又活用し、残していくかが那賀町の道路行政としての課題であります。もっと多くの人にこの路線を知っていただき、また、来ていただければその答えはおのずと見つかるでしょう。しかし、皆さんおいで頂く時は十分気を付けてお願いします！

